

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	筑西市家庭教育支援チーム (呼称:きら rin 子育て) URL: https://lin.ee/5NUfun2 (LINE)
②活動拠点	婦人ホーム(筑西市上平塚 593-1)
③活動範囲	筑西市内・結城市内全域
④組織体制	10 人 講師 1 人、生活倫理相談士 2 人、元公務員 1 人、元会社員 3 人 ママさんサポーター 3 人(現在子育て中のお母さんたち)
⑤活動開始年度	平成 21 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) きら rin 子育てセミナー 八木 瞳 (TEL)090-2209-5699 (E-mail) saekifutaba33@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

③活動内容

【具体的な活動内容】

【「きら rin 子育てセミナー」の開催】

- ・隔月で年に5～6回ほど公共の場をお借りして子育てセミナーを開催しています。筑西市を中心とし周辺地域（結城、真岡、桜川、つくば）方面から参加されている方もいらっしゃいます。
- ・セミナーテーマは現役子育てママたちの意見を取り入れて毎回決めています。テーマに沿って講師の講話があり、その後グループトークへと進むので、聴きやすく話しやすい雰囲気づくりを目指しています。
- ・毎回の参加人数も少なすぎず多すぎず、個々人の家庭やお子さんの悩みなど色んなことに共感共有することができる有意義な時間になっています。



【「子供倫理塾」の開催】

- ・「きら rin 子育てセミナー」と同日開催で、別室にて子どもたちのみが活動する場を設けています。親は別の部屋でセミナーの講話に集中することができ、子どもは他の友だちと「遊び」「学び」「しつけ」と称して色んな活動を楽しむようにしています。
- ・季節ごとの製作やハロウィン、クリスマス会などのお楽しみも催し、夏休みには習字塾を開くなど、子どもたちがやりたいことや楽しめることを中心に行っています。



<p>④活動の成果 (活動実績がある 場合)</p>	<p>・「きら rin 子育てセミナー」では継続して講話に参加してくれる受講者が増えています。毎回参加できなくても、なにかの折に子育ての話聞いてみたい、気になるテーマだから来ました、というような声が上がっています。子育てセミナーでは、気づいた時には始める！をモットーにしているので、続かなくても、途中で辞めてしまっても、また再開することで子育てに失敗はない！個々人が取り決めた目標に向かって気づいた時にはじめたら OK としているので、無理なく気軽に参加できると認識してもらえているのだと思います。</p> <p>また講師が毎回家庭で「実践」できることを一つ決めましょう、と提案して下さることで、なんとなくやっていたことでも、小さな目標、楽しみを見つけたことで子育てへの向き合い方が変わったという声もいただいています。</p> <p>・「子供倫理塾」では、参加する子どもたちが小～中学生へと成長し、互いにコミュニケーションをとってルール作りを自分たちでしながら遊ぶことが増えてきました。製作物やお楽しみ会にしても、ママさんサポーターの方たちと一緒に、どんなものを作りたいか、どんなイベントをやりたいかを話し合うようになってきました。自分たちの意見が反映されたものが実現化すると、満足度が高く、またやりたい！次はこうしたい！という積極性が生まれてきたように思います。また未就学児の参加者がいるときは、先輩のお兄さんお姉さんが「こうやるんだよ」とサポートをかってでしてくれることもあり、自主性、主体性、他者を思いやる心が芽生えてきていると感じています。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (主催の家庭倫理の会より予算を組んでいただき活動している。)</p>